

令和2年度下半期

(令和2年10月1日から令和3年3月31日まで)

宮崎県公営企業業務状況報告書

電 気 事 業

工 業 用 水 道 事 業

地 域 振 興 事 業

県 立 病 院 事 業

宮 崎 県

令和2年度下半期

(令和2年10月1日から令和3年3月31日まで)

宮崎県公営企業業務状況報告書

電 気 事 業

工業用水道事業

地域振興事業

宮崎県企業局

目 次

電気事業の業務状況

1	事業の概況	1	頁
2	経理の状況	2	〃
3	資産・企業債及び借入金の現在高	5	〃
4	令和3年度の事業の経営方針及び予算の概要	7	〃

工業用水道事業の業務状況

1	事業の概況	8	〃
2	経理の状況	9	〃
3	資産・企業債及び借入金の現在高	12	〃
4	令和3年度の事業の経営方針及び予算の概要	13	〃

地域振興事業の業務状況

1	事業の概況	14	〃
2	経理の状況	15	〃
3	資産・企業債及び借入金の現在高	18	〃
4	令和3年度の事業の経営方針及び予算の概要	19	〃

電気事業の業務状況

電気事業の令和2年度下半期の業務状況と令和3年度の事業の経営方針及び予算の概要をお知らせします。

1 事業の概況

本事業では、県内の6つの河川総合開発事業等により設置した14の水力発電所及び4つの太陽光発電設備において発電を行い、電気を供給しています。

令和2年度下半期は、降雨量が少なかったことから、供給電力量は7,993万kWh余で、目標に対する達成率は56.3%、電力料金収入は21億760万円余で、目標に対する達成率は98.1%となりました。

(1) 供給電力量

(単位：千kWh)

月別	目標 (A)	実績 (B)	比較 (B-A)	達成率	
				令和2年度 (B/A)	令和元年度
10月	32,598	25,368	△7,230	77.8%	91.3%
11月	20,792	11,943	△8,849	57.4%	56.0%
12月	17,616	5,677	△11,939	32.2%	54.3%
1月	14,890	6,781	△8,109	45.5%	81.8%
2月	19,797	4,373	△15,424	22.1%	89.1%
3月	36,347	25,788	△10,559	70.9%	131.0%
下半期計	142,040	79,930	△62,110	56.3%	—
前年度下半期計	148,188	132,444	△15,744	—	89.4%

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

(2) 電力料金収入

(消費税込み 単位：千円)

区分	目標 (A)	実績 (B)	比較 (B-A)	達成率	
				令和2年度 (B/A)	令和元年度
営業収益分	2,117,790	2,088,980	△28,810	98.6%	99.3%
基本料金 (定額料金)	1,962,663	2,001,758	39,095	102.0%	100.0%
電力量料金 (従量料金)	155,128	87,222	△67,906	56.2%	89.4%
附帯事業収益分	30,626	18,624	△12,002	60.8%	82.7%
小水力発電料金 (従量料金)	28,537	16,352	△12,185	57.3%	82.7%
太陽光発電料金 (従量料金)	2,089	2,272	183	108.8%	—
下半期計	2,148,416	2,107,604	△40,812	98.1%	—
前年度下半期計	2,297,070	2,275,582	△21,488	—	99.1%

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

(3) 職員の状況

(単位：人)

区分	常勤の職員及び短時間勤務職員 (会計年度任用職員を除く)			会計年度 任用職員	合計
	事務職	技術職	小計		
下半期	26	89	115	9	124
前年度下半期	26	84	110	—	110

※各年度3月31日現在の人員(管理者を除く。)

2 経理の状況

収益的収入については、財務収益の増等により、事業収益の収入率は 101.9%となりました。
収益的支出については、営業費用の減等により、事業費の執行率は89.9%となりました。

(1) 収益的収入及び支出（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

ア 収入

(消費税込み 単位：千円)

科目	予算額 (A)	収入済額 (B)	増減額 (B-A)	収入率 (B/A)
営業収益	4,519,221	4,553,157 (2,145,096)	33,936	100.8%
電力料	4,450,365	4,480,943 (2,088,980)	30,578	100.7%
営業雑収益	68,856	72,214 (56,116)	3,358	104.9%
附帯事業収益	86,211	75,509 (20,343)	△ 10,702	87.6%
電力料（小水力発電）	79,370	68,473 (16,352)	△ 10,897	86.3%
電力料（太陽光発電）	4,885	5,317 (2,272)	432	108.8%
附帯事業雑収益	1,956	1,718 (1,718)	△ 238	87.8%
財務収益	190,180	245,286 (127,408)	55,106	129.0%
営業外収益	80,308	96,604 (43,865)	16,296	120.3%
特別利益	0	0 (0)	0	—
事業収益	4,875,920	4,970,556	94,636	101.9%
前年度事業収益	5,471,522	5,514,940	43,418	100.8%

※（）書きが下半期分で内数です。

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

イ 支出

(消費税込み 単位：千円)

科目	予算額 (A)	執行済額 (B)	繰越額 (C)	不用額 (A-B-C)	執行率 (B/(A-C))
営業費用	5,065,332	4,232,747 (2,614,858)	378,722	453,863	90.3%
附帯事業費用	93,467	81,047 (46,146)	0	12,420	86.7%
財務費用	31,808	31,806 (14,544)	0	2	99.9%
営業外費用	255,180	255,178 (162,194)	0	2	99.9%
特別損失	0	0 (0)	0	0	—
予備費	50,000	0 (0)	0	50,000	0.0%
事業費	5,495,787	4,600,779	378,722	516,286	89.9%
前年度事業費	5,307,559	4,517,403	193,771	596,385	88.3%

※（）書きが下半期分で内数です。

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

(2) 資本的収入及び支出（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

ア 収入

（消費税込み 単位：千円）

科目	予算額 (A)	収入済額 (B)	増減額 (B-A)	収入率 (B/A)
工事負担金	1,255	1,184 (1,184)	△ 71	94.3%
固定資産売却代金	1	519 (519)	518	51,900.0%
貸付金返還金	69,967	69,968 (69,968)	1	100.1%
補助金	0	8,493 (8,493)	8,493	—
資本的収入	71,223	80,163	8,940	112.6%
前年度資本的収入	72,614	72,873	259	100.4%

※（）書きが下半期分で内数です。

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

イ 支出

（消費税込み 単位：千円）

科目	予算額 (A)	執行済額 (B)	繰越額 (C)	不用額 (A-B-C)	執行率 (B/(A-C))
建設改良費	2,393,331	865,260 (762,917)	1,376,061	152,010	85.1%
企業償還金	368,023	368,023 (184,635)	0	0	100.0%
繰出金	1,000,000	1,000,000 (0)	0	0	100.0%
雑支出	60	10 (10)	0	50	16.7%
予備費	100,000	0 (0)	0	100,000	0.0%
資本的支出	3,861,414	2,233,293	1,376,061	252,060	89.9%
前年度資本的支出	1,728,689	857,260	391,115	480,315	64.1%

※（）書きが下半期分で内数です。

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

ウ 主な改良工事の概況（改良工事費 1,000万円以上）

令和2年度下半期に実施した主な改良工事は、次のとおりです。

- ・ 情報通信ネットワーク機器更新工事 93,846 千円
- ・ 企業局庁舎改修工事 43,015 千円
- ・ 三財発電所ほか4か所無線基地局増設工事 26,903 千円
- ・ 財務会計システム改修業務委託 20,189 千円
- ・ 曾見川雨量局設置工事 17,543 千円
- ・ 財務会計システム仮想基盤構築移行業務 15,737 千円
- ・ 鬼神野取水堰沈砂池排砂設備取替工事 15,361 千円

(3) 損益計算書 (令和2年4月1日～令和3年3月31日)

収益の部は、電力料等により、45億4,950万円余となり、費用の部は、42億5,155万円余となった結果、2億9,795万円余の純利益を確保しました。

(消費税抜き 単位:千円)

区 分	金 額	備 考
収益の部	4,549,509 (2,139,945)	
営業収益	4,140,618 (1,950,820)	電力料など
附帯事業収益	68,644 (18,493)	
財務収益	245,286 (127,408)	
営業外収益	94,960 (43,224)	
特別利益	0 (0)	
費用の部	4,251,554 (2,584,247)	
営業費用	4,080,096 (2,484,732)	
附帯事業費用	80,630 (45,812)	
財務費用	31,806 (14,544)	
営業外費用	59,022 (39,159)	
特別損失	0 (0)	
当年度純利益	297,954	
その他未処分利益剰余金変動額	368,023	
当年度未処分利益剰余金	665,977	

※ () 書きが下半期分で内数です。

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

(4) 貸借対照表 (令和3年3月31日現在)

(消費税抜き 単位:千円)

区 分	金 額	区 分	金 額
固定資産	26,689,537	固定負債	2,075,237
電気事業固定資産	14,488,045	建設改良企業債	602,235
附帯事業固定資産	689,987	リース債務	5,043
事業外固定資産	211,153	引当金	1,460,959
固定資産仮勘定	769,000	雑固定負債	7,000
投資その他の資産	10,531,352	流動負債	3,800,008
流動資産	24,037,410	建設改良企業債	324,074
現金及び預金	565,567	リース債務	4,910
未収金	445,580	引当金	72,146
貯蔵品	2,103	未払金	813,458
短期投資	23,024,159	未払費用	590,272
		預り金	9,149
		雑流動負債	1,986,000
		繰延収益	768,936
		長期前受金	2,044,996
		長期前受金収益化累計額	△ 1,276,060
		負債合計	6,644,181
		資本金	28,923,972
		固有資本金	265
		繰入資本金	34,388
		組入資本金	28,889,320
		剰余金	11,235,001
		資本剰余金	321,823
		利益剰余金	10,913,178
		評価・換算差額等	3,923,792
		その他有価証券評価差額金	3,923,792
		資本合計	44,082,766
資産合計	50,726,947	負債資本合計	50,726,947

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

3 資産・企業債及び借入金の現在高

(1) 資産

令和3年3月31日現在の資産の状況は、次のとおりです。

(消費税抜き 単位：千円)

科 目	金 額	内 容		
電気事業固定資産	14,488,045	水力発電設備	12,715,731	
		送電設備	598,188	
		業務設備	1,174,126	
附帯事業固定資産	689,987	小水力発電設備	619,140	
		太陽光発電設備	70,847	
事業外固定資産	211,153	有形固定資産	157,009	
		分収林	54,144	
固定資産仮勘定	769,000	建設仮勘定	769,000	
投資 その 他の 資産	長期投資	株式	4,179,982	
		出資金	9,160	
		長期貸付金	2,754,755	
	基金	3,587,268	減債基金	926,308
		濁水等欠損準備基金	1,200,000	
		特別修繕基金	970,480	
		退職給付基金	490,480	
	その他資産	187	長期前払金	187
現金及び預金	565,567	当座預金	265,567	
		定期預金	300,000	
未収金	445,580			
貯蔵品	2,103			
短期投資	23,024,159			
合 計	50,726,947			

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

(2) 企業債

令和3年3月31日現在の企業債の状況は、次のとおりです。

ア 投資先別企業債明細

(消費税抜き 単位：千円)

投資先	発行総額	償還額累計	未償還残高	備考
電気事業債	37,629,175	36,702,867	926,308	
川原発電所	7,415	7,415	0	
石河内第二発電所	9,885	9,885	0	
石河内第一発電所	3,248,875	3,232,448	16,427	
渡川発電所	4,051,000	4,022,655	28,345	
綾第一発電所	7,314,000	7,199,267	114,733	
綾第二発電所	4,056,000	4,036,305	19,695	
立花発電所	2,403,000	2,403,000	0	
三財発電所	2,328,000	2,160,360	167,640	
岩瀬川発電所	3,091,000	3,065,357	25,643	
祝子発電所	3,638,000	3,638,000	0	
上祝子発電所	1,327,000	1,270,423	56,577	
田代八重発電所	2,942,000	2,444,750	497,250	
浜砂発電所	1,436,000	1,436,000	0	
設備近代化	1,777,000	1,777,000	0	
公共事業債	12,000	12,000	0	
投資債	1,214,200	1,214,200	0	
災害債	20,000	20,000	0	
合計	38,875,375	37,949,067	926,308	償還率 97.6%

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

イ 借入先別企業債明細

(消費税抜き 単位：千円)

借入先	発行総額	償還額累計	未償還残高	備考
財務省	14,964,404	14,519,202	445,202	
総務省	4,119,300	4,119,300	0	
地方公共団体金融機構	16,916,000	16,434,894	481,106	
宮崎銀行	1,986,620	1,986,620	0	
鹿児島銀行	383,000	383,000	0	
みずほ銀行	131,000	131,000	0	
農林中央金庫	288,000	288,000	0	
一般公募等	87,051	87,051	0	
合計	38,875,375	37,949,067	926,308	償還率 97.6%

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

(3) 一時借入金

令和3年3月31日現在、一時借入金はありません。

(4) 他会計借入金

令和3年3月31日現在、他会計からの借入金はありません。

4 令和3年度の事業の経営方針及び予算の概要

(1) 事業経営方針

当事業については経営基盤の強化と供給信頼性の向上に努め、電力の安定供給を図るとともに、公営企業として健全経営の維持と地域貢献の充実を積極的に推進します。

(2) 業務予定量

水力発電等に係る年間供給電力量を計上しており、料金収入は昨年度に比べ7,596万円余の増を見込んでいます。

(消費税込み)

区 分	令和3年度	令和2年度	前年度比
年間供給電力量 (目標)	千kWh 479,161	千kWh 480,060	99.8%
料金収入 (目標)	千円 4,610,582	千円 4,534,620	101.7%

(3) 当初予算額

事業収益は、営業収益の増等により昨年度に比べ1億4,987万円余の増、事業費は、営業費用の増等により1億5,594万円余の増を見込んでいます。その結果、収支残は4億2,215万円余のマイナスを見込んでいます。

(消費税込み 単位：千円)

区 分	令和3年度 (A)	令和2年度 (B)	増 減 (A-B)	主な増減理由	
収 益 的 収 支	事業収益	5,025,790	4,875,920	149,870	営業収益の増
	事業費	5,447,947	5,291,998	155,949	営業費用の増
	収支残	△ 422,157	△ 416,078	△ 6,079	
資 本 的 収 支	資本的収入	189,959	71,223	118,736	工事負担金の増
	資本的支出	5,626,078	3,049,233	2,576,845	建設改良費の増
	収支残	△ 5,436,119	△ 2,978,010	△ 2,458,109	

※資本的収支の不足額 5,436,119千円は、過年度分損益勘定留保資金等で補てんする予定

5 むすび

以上が、電気事業の令和2年度下半期の業務状況と令和3年度の事業の経営方針及び予算の概要です。

今後とも、本県の豊かな水資源を生かした水力発電や再生可能エネルギー導入の取組などを通して、本県の産業経済の振興と住民の福祉の増進に寄与してまいります。

工業用水道事業の業務状況

工業用水道事業の令和2年度下半期の業務状況と令和3年度の事業の経営方針及び予算の概要をお知らせします。

1 事業の概況

本事業では、細島工業団地に工業用水を供給する目的で、昭和39年10月から給水を開始しており、給水能力は日量 125,000^mで、現在14者に給水を行っています。

令和2年度下半期は、日向市へ給水を行ったことにより、常時使用水量は 1,258万^m余で、目標に対する達成率は99.3%、給水料金収入は1億 9,371万円余で、目標に対する達成率は99.3%となりました。

(1) 給水状況

(単位：千^m)

月 別	基本使用水量	常時使用水量					未達水量
		目 標 (A)	実 績 (B)	比 較 (B-A)	達 成 率		
					令和2年度 (B/A)	令和元年度	
10月	3,044	1,664	1,669	5	100.3%	100.3%	1,375
11月	2,945	1,610	1,612	2	100.1%	160.5%	1,334
12月	3,819	2,668	2,633	△ 35	98.7%	160.5%	1,186
1月	3,819	2,668	2,633	△ 35	98.7%	97.6%	1,186
2月	3,449	2,410	2,378	△ 32	98.7%	97.6%	1,071
3月	3,044	1,664	1,665	1	100.1%	100.1%	1,378
下半期計	20,119	12,684	12,589	△ 95	99.3%	—	7,530
前年度下半期計	20,922	11,896	13,755	1,859	—	115.6%	7,237

※令和2年度年間常時使用水量(目標) 22,506千^m

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

(2) 給水料金収入

(消費税込み 単位：千円)

区 分	目 標 (A)	実 績 (B)	比 較 (B-A)	達 成 率	
				令和2年度 (B/A)	令和元年度
常時使用水量分	145,108	144,015	△ 1,093	99.2%	115.6%
未達水量分	49,911	49,698	△ 213	99.6%	95.7%
下半期計	195,019	193,713	△ 1,306	99.3%	—
前年度下半期計	185,996	205,120	19,124	—	110.3%

※料金単価 基本料金：10.4円/^m、未達料金：6.0円/^m、超過料金：20.8円/^m

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

(3) 職員の状況

(単位：人)

区 分	常勤の職員及び短時間勤務職員 (会計年度任用職員を除く)			会計年度 任用職員	合計
	事 務 職	技 術 職	小 計		
下半期	0	6.9	6.9	1	7.9
前年度下半期	0	6.9	6.9	—	6.9

※各年度3月31日現在の人員(管理者を除く。)

※各年度とも0.9人は地域振興事業会計との兼務

2 経理の状況

収益的収入については、営業外収益の増等により、事業収益の収入率は 100.1%となりました。

収益的支出については、営業費用の減等により、事業費の執行率は86.8%となりました。

(1) 収益的収入及び支出（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

ア 収入

(消費税込み 単位：千円)

科目	予算額 (A)	収入済額 (B)	増減額 (B-A)	収入率 (B/A)
営業収益	362,295	362,246 (194,224)	△ 49	99.9%
営業外収益	47,347	47,628 (23,397)	281	100.6%
特別利益	0	0 (0)	0	—
事業収益	409,642	409,874	232	100.1%
前年度事業収益	390,974	417,063	26,089	106.7%

※ () 書きが下半期分で内数です。

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

イ 支出

(消費税込み 単位：千円)

科目	予算額 (A)	執行済額 (B)	繰越額 (C)	不用額 (A-B-C)	執行率 (B/(A-C))
営業費用	415,684	365,535 (251,419)	499	49,650	88.0%
営業外費用	497	479 (334)	0	18	96.4%
特別損失	0	0 (0)	0	0	—
予備費	6,000	0 (0)	0	6,000	0.0%
事業費	422,181	366,014	499	55,668	86.8%
前年度事業費	370,622	310,385	14,479	45,758	87.2%

※ () 書きが下半期分で内数です。

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

(2) 資本的収入及び支出（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

ア 収入

（消費税込み 単位：千円）

科目	予算額 (A)	収入済額 (B)	増減額 (B-A)	収入率 (B/A)
固定資産売却代金	1	2,888 (2,888)	2,887	288,800.0%
資本的収入	1	2,888	2,887	288,800.0%
前年度資本的収入	0	0	0	-

※（）書きが下半期分で内数です。

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

イ 支出

（消費税込み 単位：千円）

科目	予算額 (A)	執行済額 (B)	繰越額 (C)	不用額 (A-B-C)	執行率 (B/(A-C))
建設改良費	403,944	331,136 (169,053)	849	71,959	82.1%
企業債償還金	4,371	4,370 (2,202)	0	1	99.9%
借入金償還金	60,000	60,000 (60,000)	0	0	100.0%
雑支出	20	0 (0)	0	20	0.0%
予備費	10,000	0 (0)	0	10,000	0.0%
資本的支出	478,335	395,506	849	81,980	82.8%
前年度資本的支出	640,102	392,830	206,898	40,374	90.7%

※（）書きが下半期分で内数です。

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

ウ 主な改良工事の概況（改良工事費 100万円以上）

令和2年度下半期に実施した主な改良工事は、次のとおりです。

- ・高速凝集沈殿池設備更新工事 160,890千円
- ・情報通信ネットワーク機器更新工事 5,733千円
- ・財務会計システム改修業務委託 1,244千円

(3) 損益計算書 (令和2年4月1日～令和3年3月31日)

収益の部は、給水収益等により3億6,880万円余となり、費用の部は、3億4,937万円余となった結果、1,943万円余の純利益を確保しました。

(消費税抜き 単位：千円)

区 分	金 額	備 考
収益の部	368,804 (196,585)	
営業収益	329,478 (176,572)	給水収益など
営業外収益	39,326 (20,013)	
特別利益	0 (0)	
費用の部	349,370 (237,308)	
営業費用	348,891 (236,974)	
営業外費用	479 (334)	
特別損失	0 (0)	
当年度純利益	19,434	
その他未処分利益剰余金変動額	64,370	
当年度未処分利益剰余金	83,804	

※ () 書きが下半期分で内数です。

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

(4) 貸借対照表 (令和3年3月31日現在)

(消費税抜き 単位：千円)

区 分	金 額	区 分	金 額
固定資産	2,405,844	固定負債	2,011,155
有形固定資産	2,401,888	建設改良企業債	2,955
無形固定資産	3,544	建設改良他会計借入金	780,000
固定資産仮勘定	262	その他の他会計借入金	1,191,225
投資その他の資産	149	引当金	36,975
流動資産	1,907,517	流動負債	154,055
現金及び預金	69,099	建設改良企業債	1,410
未収金	37,558	建設改良他会計借入金	60,000
貯蔵品	860	未払金	18,269
雑流動資産	1,800,000	未払費用	70,265
		預り金	232
		引当金	3,879
		繰延収益	412,284
		長期前受金	834,646
		長期前受金収益化累計額	△ 422,362
		負債合計	2,577,495
		資本金	639,001
		固有資本金	2,906
		組入資本金	636,095
		剰余金	1,096,866
		資本剰余金	1,170
		利益剰余金	1,095,696
		資本合計	1,735,866
資産合計	4,313,361	負債資本合計	4,313,361

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

3 資産・企業債及び借入金の現在高

(1) 資産

令和3年3月31日現在の資産の状況は、次のとおりです。

(消費税抜き 単位：千円)

科目	金額	内容	
有形固定資産	2,401,888	土地	11,913
		建物	89,598
		構築物	1,592,946
		機械及び装置	705,811
		備品	1,620
無形固定資産	3,544	電話加入権	569
		ソフトウェア	2,975
固定資産仮勘定	262	建設仮勘定	262
投資その他の資産	149	出資金	140
		長期前払金	9
現金及び預金	69,099	当座預金	69,099
未収金	37,558		
貯蔵品	860		
雑流動資産	1,800,000		
合計	4,313,361		

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

(2) 企業債

令和3年3月31日現在の企業債の状況は、次のとおりです。

(消費税抜き 単位：千円)

借入先	発行総額	償還額累計	未償還残高	備考
財務省	177,000	172,636	4,364	
総務省	455,000	455,000	0	
地方公共団体金融機構	780,000	780,000	0	
宮崎銀行	717,000	717,000	0	
合計	2,129,000	2,124,636	4,364	

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

(3) 一時借入金

令和3年3月31日現在、一時借入金はありません。

(4) 他会計借入金

令和3年3月31日現在の他会計借入金の状況は、次のとおりです。

(消費税抜き 単位：千円)

借入先	借入総額	償還額累計	未償還残高	備考
一般会計	1,746,606	1,746,606	0	償還率 56.5%
電気事業会計	2,924,405	893,180	2,031,225	
合計	4,671,011	2,639,786	2,031,225	

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

4 令和3年度の事業の経営方針及び予算の概要

(1) 事業経営方針

当事業については、工業用水の安定供給に努め、県北地域の経済振興に寄与していくとともに、更なる経営の安定化を図るため、引き続き費用抑制に努めます。

(2) 業務予定量

年間総給水量は、13社との契約水量に加え、日向市への給水量を見込み、3,808万 m^3 余としています。料金収入は、日向市の常時使用水量の減等により、前年度に比べ31万円余の減を見込んでいます。

(消費税込み)

区 分	令和3年度	令和2年度	前年度比
年間総給水量 (目標)	千 m^3 38,086	千 m^3 38,067	100.1%
料金収入 (目標)	千円 359,861	千円 360,175	99.9%

(3) 当初予算額

事業収益は、営業外収益の減等により昨年度に比べ1,147万円余の減、事業費は営業費用の増等により6,584万円余の増を見込んでいます。その結果、収支残は7,532万円余のマイナスを見込んでいます。

(消費税込み 単位：千円)

区 分	令和3年度 (A)	令和2年度 (B)	増 減 (A-B)	主な増減理由	
収益的 収支	事業収益	398,168	409,642	Δ 11,474	営業外収益の減
	事業費	473,497	407,651	65,846	営業費用の増
	収支残	Δ 75,329	1,991	Δ 77,320	
資本的 収支	資本的収入	771	1	770	工事負担金の増
	資本的支出	107,316	271,358	Δ 164,042	建設改良費の減
	収支残	Δ 106,545	Δ 271,357	164,812	

※資本的収支の不足額 106,545千円は、借入金償還積立金等で補てんする予定

5 むすび

以上が、工業用水道事業の令和2年度下半期の業務状況と令和3年度の事業の経営方針及び予算の概要です。

今後とも、健全経営の維持に努め、低廉な工業用水を安定的に供給し、本県の産業振興に寄与してまいります。

地域振興事業の業務状況

地域振興事業の令和2年度下半期の業務状況と令和3年度の事業の経営方針及び予算の概要をお知らせします。

1 事業の概況

本事業では、一ツ瀬川の河川敷を利用してゴルフ場などを整備し、平成2年11月から営業を行っています。

令和2年度下半期の利用者数は17,629人で、目標に対する達成率は105.6%、施設利用料収入は721万円余で、目標に対する達成率は69.6%となりました。

(1) ゴルフコース利用状況

(単位：人)

月別	目標 (A)	実績 (B)			比較 (B-A)	達成率	
		平日	休日	合計		令和2年度 (B/A)	令和元年度
10月	2,800	1,863	983	2,846	46	101.6%	86.4%
11月	3,000	1,877	1,565	3,442	442	114.7%	89.4%
12月	3,000	2,153	1,136	3,289	289	109.6%	90.3%
1月	2,900	1,523	1,162	2,685	△ 215	92.6%	89.7%
2月	2,500	1,596	1,072	2,668	168	106.7%	95.4%
3月	2,500	1,879	820	2,699	199	108.0%	21.7%
下半期計	16,700	10,891	6,738	17,629	929	105.6%	—
前年度下半期計	16,700	8,235	5,103	13,338	△ 3,362	—	79.9%

※平日の65歳以上の利用者数は9,010人で下半期全体の51.1%

(2) 施設利用料収入（納付金）

(消費税込み 単位：千円)

区分	目標 (A)	実績 (B)	比較 (B-A)	達成率	
				令和2年度 (B/A)	令和元年度
下半期計	10,358	7,214	△ 3,144	69.6%	—
前年度下半期計	8,965	0	△ 8,965	—	0.0%

(3) 職員の状況

(単位：人)

区分	常勤の職員及び短時間勤務職員 (会計年度任用職員を除く)			会計年度 任用職員	合計
	事務職	技術職	小計		
下半期	0	0.1	0.1	0	0.1
前年度下半期	0	0.1	0.1	—	0.1

※各年度3月31日現在の人員（管理者を除く。）

※各年度とも0.1人は工業用水道事業会計との兼務

2 経理の状況

収益的収入については、営業収益の増等により、事業収益の収入率は 109.3%となりました。

収益的支出については、営業費用の減等により、事業費の執行率は90.7%となりました。

(1) 収益的収入及び支出（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

ア 収入

（消費税込み 単位：千円）

科目	予算額 (A)	収入済額 (B)	増減額 (B-A)	収入率 (B/A)
営業収益	14,772	16,307 (7,217)	1,535	110.4%
営業外収益	2,214	2,257 (1,260)	43	101.9%
特別利益	0	0 (0)	0	—
事業収益	16,986	18,563	1,577	109.3%
前年度事業収益	11,918	6,408	△ 5,510	53.8%

※（）書きが下半期分で内数です。

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

イ 支出

（消費税込み 単位：千円）

科目	予算額 (A)	執行済額 (B)	繰越額 (C)	不用額 (A-B-C)	執行率 (B/(A-C))
営業費用	19,522	18,317 (7,381)	9	1,196	93.9%
営業外費用	414	133 (△ 404)	0	281	32.1%
特別損失	3,765	3,765 (3,765)	0	0	100.0%
予備費	800	0 (0)	0	800	0.0%
事業費	24,501	22,215	9	2,277	90.7%
前年度事業費	22,144	17,964	0	4,180	81.1%

※（）書きが下半期分で内数です。

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

(2) 資本的収入及び支出（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

ア 収入

（消費税込み 単位：千円）

科目	予算額 (A)	収入済額 (B)	増減額 (B-A)	収入率 (B/A)
固定資産売却代金	0	10 (10)	10	—
資本的収入	0	10	10	—
前年度資本的収入	700	23	△ 677	3.3%

※ () 書きが下半期分で内数です。

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

イ 支出

（消費税込み 単位：千円）

科目	予算額 (A)	執行済額 (B)	繰越額 (C)	不用額 (A-B-C)	執行率 (B/(A-C))
建設改良費	17,045	14,515 (1,214)	0	2,530	85.2%
借入金償還金	9,968	9,968 (9,968)	0	0	100.0%
雑支出	6	6 (6)	0	0	100.0%
予備費	2,994	0 (0)	0	2,994	0.0%
資本的支出	30,013	24,488	0	5,525	81.6%
前年度資本的支出	34,202	18,738	7,633	7,831	70.5%

※ () 書きが下半期分で内数です。

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

ウ 主な改良工事の概況（改良工事費 100万円以上）

令和2年度下半期に実施した主な改良工事はありません。

(3) 損益計算書（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

収益の部は、施設利用料等により 1,680万円余となり、費用の部は、2,175万円余となった結果、494万円余の純損失を計上しました。

(消費税抜き 単位：千円)

区 分	金 額	備 考
収益の部	16,807 (7,535)	
営業収益	14,835 (6,560)	施設利用料など
営業外収益	1,972 (975)	
特別利益	0 (0)	
費用の部	21,753 (10,897)	
営業費用	18,197 (7,357)	
営業外費用	133 (117)	
特別損失	3,423 (3,423)	
当年度純損失	4,945	
前年度繰越欠損金	6,430	
当年度未処理欠損金	11,374	

※ () 書きが下半期分で内数です。

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

(4) 貸借対照表（令和3年3月31日現在）

(消費税抜き 単位：千円)

区 分	金 額	区 分	金 額
固定資産	646,611	固定負債	713,585
スポーツ・レクリエーション施設	646,560	建設改良他会計借入金	713,163
無形固定資産	27	引当金	423
投資その他の資産	24		
流動資産	194,286	流動負債	14,539
現金及び預金	5,267	建設改良他会計借入金	9,968
未収金	3,018	引当金	30
雑流動資産	186,000	未払金	69
		未払費用	4,473
		繰延収益	1,212
		長期前受金	2,005
		長期前受金収益化累計額	△ 792
		負債合計	729,337
		資本金	97,935
		組入資本金	97,935
		剰余金	13,626
		利益剰余金	13,626
		資本合計	111,560
資産合計	840,897	負債資本合計	840,897

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

3 資産・企業債及び借入金の現在高

(1) 資産

令和3年3月31日現在の資産の状況は、次のとおりです。

(消費税抜き 単位：千円)

科 目	金 額	内 容	
スポーツ・レクリエーション施設	646,560	土地	28,457
		建物	78,598
		構築物	520,886
		機械及び装置	573
		備品	18,047
無形固定資産	27	ソフトウェア	27
投資その他の資産	24	長期前払金	24
現金及び預金	5,267	当座預金	5,267
未収金	3,018		
雑流動資産	186,000		
合 計	840,897		

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがあります。

(2) 企業債

令和3年3月31日現在、企業債の残高はありません。

(3) 一時借入金

令和3年3月31日現在、一時借入金ははありません。

(4) 他会計借入金

令和3年3月31日現在の他会計借入金の状況は、次のとおりです。

(消費税抜き 単位：千円)

借入先	借入総額	償還額累計	未償還残高	備 考
電気事業会計	895,000	171,870	723,130	
合 計	895,000	171,870	723,130	償還率 19.2%

4 令和3年度の事業の経営方針及び予算の概要

(1) 事業経営方針

当事業については、平成18年度から指定管理者制度を導入し、利用者のサービス向上を図っているところであり、引き続き指定管理者と緊密に連携しながら、利用促進に努めてまいります。

(2) 業務予定量

年間利用者数（目標）は31,500人とし、施設利用料は2,001万円余を見込んでいます。

（消費税込み）

区 分	令和3年度	令和2年度	前年度比
年間利用者数 （目標）	人 31,500	人 31,500	100.0%
施設利用料 （目標）	千円 20,016	千円 19,323	103.6%

(3) 当初予算額

事業収益は、営業収益の増により昨年度に比べ35万円余の増、事業費は、営業費用の減により80万円余の減を見込んでいます。その結果、収支残は132万円余（対前年度比705.5%増）を見込んでいます。

（消費税込み 単位：千円）

区 分	令和3年度 (A)	令和2年度 (B)	増 減 (A-B)	主な増減理由	
収益的 収支	事業収益	22,020	21,668	352	営業収益の増
	事業費	20,699	21,504	△ 805	営業費用の減
	収支残	1,321	164	1,157	
資本的 収支	資本的収入	0	0	0	
	資本的支出	17,973	22,380	△ 4,407	建設改良費の減
	収支残	△ 17,973	△ 22,380	4,407	

※資本的収支の不足額17,973千円は、過年度分損益勘定留保資金等で補てんする予定

5 むすび

以上が、地域振興事業の令和2年度下半期の業務状況と令和3年度の事業の経営方針及び予算の概要です。

今後とも、幅広く県民に親しまれるゴルフ場を目指し、施設の適切な管理運営など利用者のサービス向上に努め、公共の福祉の増進に寄与してまいります。

令和2年度下半期

(令和2年10月1日から令和3年3月31日まで)

宮崎県公営企業業務状況報告書

県立病院事業

宮崎県病院局

目 次

県立病院事業の業務状況

1	事業の概況	20	頁
2	経理の状況	21	〃
3	企業債及び借入金の現在高	22	〃
4	令和3年度の事業の経営方針及び予算の概要	23	〃

県立病院事業の業務状況

県立病院事業の令和2年度下半期の業務状況と令和3年度の事業の経営方針及び予算の概要をお知らせします。

1 事業の概況

令和2年度下半期の事業の概況は、次のとおりです。

(1) 患者の概況

令和2年度下半期における利用患者数は、延入院患者数142,954人、延外来患者数162,822人で、前年度同期と比較すると、入院で24,775人、外来で14,562人減少しています。

ア 延入院患者数（下半期）

（単位：人、％）

病院名	2年度	元年度	増減	増減率
宮崎病院	58,801	70,178	△ 11,377	△ 16.2
延岡病院	50,532	56,126	△ 5,594	△ 10.0
日南病院	33,621	41,425	△ 7,804	△ 18.8
計	142,954	167,729	△ 24,775	△ 14.8

イ 延外来患者数（下半期）

（単位：人、％）

病院名	2年度	元年度	増減	増減率
宮崎病院	72,955	83,420	△ 10,465	△ 12.5
延岡病院	48,382	50,699	△ 2,317	△ 4.6
日南病院	41,485	43,265	△ 1,780	△ 4.1
計	162,822	177,384	△ 14,562	△ 8.2

(2) 職員の状況

（単位：人）

年度	職種								計
	医師	薬剤師	診療放射線技師	臨床検査技師	その他の医療技術員	看護師等	事務員		
元年度	208	49	47	57	87	1,102	68	1,618	
2年度	211	48	46	56	88	1,098	70	1,617	
増減	3	△ 1	△ 1	△ 1	1	△ 4	2	△ 1	

※ 各年度3月31日現在です。また、管理者を除いた数です。

2 経理の状況

(1) 収益的収支（下半期）

令和2年度下半期の収益的収支の状況は、次のとおりです。

(単位：千円)

区分 病院名	収 益 (A)				費 用 (B)				差引 A-B
	医業収益	医業外収益	特別利益	計	医業費用	医業外費用	特別損失	計	
宮崎病院	6,062,764	2,359,380	256,429	8,678,573	7,522,981	339,127	256,429	8,118,537	560,036
延岡病院	5,311,219	1,846,509	193,155	7,350,884	5,770,292	380,864	193,155	6,344,311	1,006,573
日南病院	2,426,107	751,335	284,640	3,462,082	3,302,570	199,929	126,483	3,628,982	△ 166,900
計	13,800,091	4,957,224	734,225	19,491,539	16,595,843	919,919	576,068	18,091,830	1,399,709

※ 四捨五入の関係で、内訳と合計が一致しない場合があります。

(2) 資本的収支（下半期）

令和2年度下半期の資本的収支の状況は、次のとおりです。

(単位：千円)

収 入		支 出	
企 業 債	1,054,400	建 設 改 良 費	1,596,973
一 般 会 計 負 担 金	1,209,042	企 業 債 償 還 金	1,677,497
補 助 金	75,428	投 資	1,800
そ の 他 資 本 収 入	0		
計	2,338,870	計	3,276,269
		収支差引	△ 937,399

※ 四捨五入の関係で、内訳と合計が一致しない場合があります。

(3) 貸借対照表

令和3年3月31日現在の貸借対照表は、次のとおりです。

(単位：千円)

資産の部		負債・資本の部	
勘定科目	金 額	勘定科目	金 額
固定資産	31,941,521	固定負債	23,149,971
流動資産	25,341,731	流動負債	23,558,742
繰延資産	0	繰延収益	3,106,353
		負債合計	49,815,067
		資本金	12,743,396
		剰余金	△ 5,275,210
		資本合計	7,468,186
資産合計	57,283,252	負債・資本合計	57,283,252

※ 四捨五入の関係で、内訳と合計が一致しない場合があります。

3 企業債及び借入金の現在高

(1) 企業債明細表

令和3年3月31日現在の企業債の状況は、次のとおりです。

(単位：千円)

区分 病院名	発行総額	償還額		未償還残高
		当年度	累 計	
宮崎病院	9,739,500	852,850	2,471,985	7,267,515
延岡病院	24,010,170	1,444,961	15,023,290	8,986,880
日南病院	17,935,230	1,044,489	11,116,702	6,818,528
計	51,684,900	3,342,300	28,611,977	23,072,923

※ 四捨五入の関係で、内訳と合計が一致しない場合があります。

(2) 一般会計借入金

なし

(3) 一時借入金

令和3年3月31日現在の一時借入金の状況は、次のとおりです。

(単位：千円)

区分 病院名	発行総額	償還額		未償還残高
		当年度	累 計	
宮崎病院	10,926,300	3,959,700	3,959,700	6,966,600
延岡病院	0	0	0	0
日南病院	0	0	0	0
計	10,926,300	3,959,700	3,959,700	6,966,600

※ 四捨五入の関係で、内訳と合計が一致しない場合があります。

4 令和3年度の事業の経営方針及び予算の概要

(1) 経営方針

公共の福祉の増進と経済性の発揮との調和を図りながら、本県の中核病院としての医療水準・患者サービスの向上と県民医療の確保を図ることを基本としています。

(2) 年間患者数（目標）

（単位：人）

	3年度目標	2年度目標	増減
延入院患者数	292,000	357,700	△ 65,700
延外来患者数	324,280	370,575	△ 46,295
計	616,280	728,275	△ 111,995

(3) 予算の概要

ア 収益的収入及び支出

収入

（単位：千円）

款	項	目	予定額	備考
病院事業収益	医業収益	入院収益	37,936,040	
		外来収益	27,679,630	
		一般会計負担金	19,133,553	
		その他医業収益	7,441,401	
		その他医業収益	747,345	
	医業外収益	受取利息配当金	357,331	
		一般会計負担金	10,168,854	
		一般会計補助金	0	
		補助金	8,215,277	
		長期前受金戻入	360,699	
		その他医業外収益	52,793	
		その他医業外収益	1,455,477	
	特別利益	84,608		
	87,556			

支出

（単位：千円）

款	項	目	予定額	備考
病院事業費用	医業費用	給与費	37,329,823	
		材料費	36,691,132	
		経費	17,446,893	
		減価償却費	10,027,490	
		資産減耗費	6,163,422	
		研究研修費	2,580,387	
		研究研修費	284,984	
		研究研修費	187,956	
		研究研修費	635,691	
		研究研修費	382,889	
	医業外費用	支払利息及び企業債取扱諸費	59,211	
		雑損失	15,000	
		消費税及び地方消費税	0	
		繰延勘定償却	178,591	
		繰延勘定償却	0	
		繰延勘定償却	0	
		繰延勘定償却	3,000	
特別損失	0			
予備費	3,000			

イ 資本的収入及び支出

収入

(単位：千円)

款	項	目	予定額	備考
資本的収入			20,083,413	
	企業債		17,913,300	
		企業債	17,913,300	
	一般会計負担金		2,154,515	
		一般会計負担金	2,154,515	
	補助金		15,598	
		補助金	15,598	

支出

(単位：千円)

款	項	目	予定額	備考
資本的支出			22,093,676	
	建設改良費		18,532,499	
		改築整備費	10,226,909	
		改良工事費	1,102,935	
		資産購入費	7,014,832	
		リース資産購入費	187,823	
	企業債償還金		3,524,177	
		企業債償還金	3,524,177	
	投資		36,000	
		投資	36,000	
	予備費		1,000	

5 むすび

県立病院事業の令和2年度下半期の業務状況と令和3年度の事業の経営方針及び予算の概要は、以上のとおりです。

今後とも本県の中核病院として機能充実と経営健全化に向けた努力を重ねながら、より良い医療サービスの確保を目指してまいります。